

YOGA WORKS

yoga works

いつも一緒に歩いていく

vol.5

インストラクターなら一度は触れ 信頼している日本初のヨガブランド

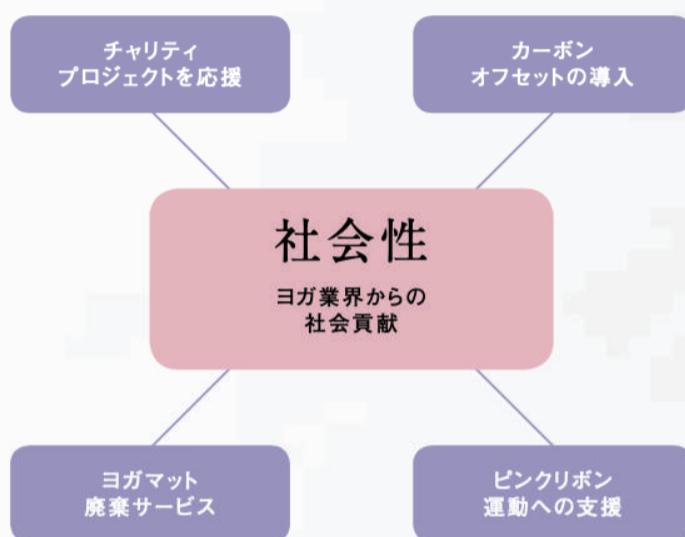
老舗ブランドとして知られるヨガワークス。

そのプロダクトは、ヨガを学ぶ人たちやインストラクターに愛用され続け、

近年の日本のヨガシーンを支える存在となっている。

キーワードからヨガワークスを探るシリーズ第5弾では、代表を務める綿本哲氏が、「社会性」について語る。

写真：市田智之、伊藤大介、樋口勇一郎 構成・文：岩崎裕司



「廃棄物処理法」に則ったヨガマットの廃棄処理サービスを実施。売上（全商品を対象）の一部を「NPO法人J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）」へ寄付、「温室効果ガス削減事業」へ出資など。過去には利益の100%を寄付するチャリティーヨガマットの企画も。

2003年、日本初・東京発のヨガブランドとして設立されたヨガワークス。さまざまな厚さやカラーをラインアップしたプロダクトは、ヨガの魅力と奥深さを多くの人達に伝えながら、指導を担うインストラクターの質まで向上させ、今や日本のヨガシーンを支える存在となっている。さらに、ヨガ業界にとどまることなく、現代社会が抱える多種多様の問題にも目を向け、よりよい社会作りを目指しているという。

ヨガマットに代表されるプロダクトを通して、設立から現在に至るまで、ヨガワークスはどのように社会とかかわりを持ってきたのか。また、今後、どのようなかかわり方を見据えているのか。

ヨガワークスのブランド背景を探る連載の第5弾は、「社会性」がテーマ。プロダクトと社会とのかかわり方、その方法と意義に触れる。

「社会性」とは？
プロダクトがつなぐ



「ヨガの指導を高めるために よりよい商品を作り 正しく社会に還元していきたいと思つています」

私達は、よく「マットの上をよくする」という言い方をします。マットの上とは、「ヨガマットを敷いてヨガを実践している方はもちろん、その家族や友人、生活で接するもの」と、さらには温暖化問題など地球規模の環境も含みます。ヨガブランドとして商品を開発しながら、社会に役立つ「ヨガの考え方」を広めたいと思っています。

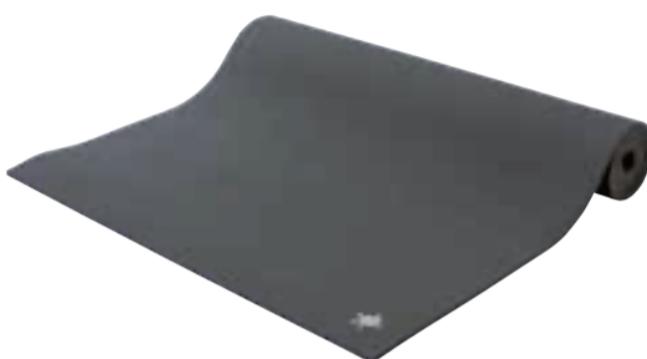
地球温暖化を防ぐ「カーボンオフセット」も、その一つ。ヨガマットの製造や輸送で排出される二酸化炭素量に基づき、外部の団体が行う「温室効果ガス削減事業」へ出資する取り組みです。例えば、2012年にはザンビアでの「調理用コノロ普及プロジェクト」を支援しました。約3万軒の家庭を対象に調理用コノロを普及させ、薪炭材の必要量を減らし、森林破壊や煤（すす）による健康被害を減らすプロジェクトでした。ヨガマットの売り上げの一部は、こうした活動に還元しているのです。

同じようにマットの上をよくするため、自然環境を守る「ナショナル・トラスト」運動、乳がんの早期発

見を促す「ピンクリボン」運動などの支援も行っています。

時代の変化に合わせて 社会とつながり続ける

私達が単独で取り組んできたものは、「ヨガマットの廃棄回収サービス」があります。作り手として、ヨガマットの製造から廃棄まで見届けるべきだと考えたからです。他社の商品を含めて対象としているのも、そうした思いからです。



THE BLACKMAT II 6.5mm ¥19,250

ドイツのファクトリーブランドが3年以上の試行錯誤の末に完成させた、最高品質のヨガマット「THE BLACKMAT」のニューモデル。厚さを7mmから6.5mmに変更。グリップ力・クッション性の向上と、軽量化に成功。



PILATES MAT 12mm ¥5,500

もっちりふわっとソフトな触感で、体をしっかりとサポートするピラティス用12mm厚マット。裏面は、丸めて保管するときにシワがつきにくい「なみなみ」加工。欧州環境基準「EN71 Part3」をパスした素材を使用。

column

インストラクターが明かす ヨガワークスの魅力

生徒さんにブランドや商品を相談された時には、必ずヨガワークスを勧めています。クオリティが高いだけでなくカラーリングが豊富なので、自分のフィーリングに合った色を選ぶことができ、いいマインドに導かれやすくなるんです。プロップスでは、なんと言っても「ヨガザフ」！私も好きで、「おうちに一つどうぞ」って、よくオススメしています。厚みや高さが日本人にピッタリで、脚を組みやすく收まりがいいんですよ。



ジュン/Jun

19歳からプロダンサーとして活躍。ダンサー生活においてフィジカル・メンタルともに効果が高いヨガに興味を持ち、ヨガの道へ。大手スタジオ在籍中は、最優秀店舗賞や人気スタッフ賞を受賞するなど高い評価を獲得。2017年より、フリーのヨガインストラクターとして活動を開始。

初めて選ぶ人にこそ
オススメです

ていることを知り、赤ちゃんが過ごす空間に敷く方もいるそうです。
これからも、ヨガの指導を高めるために、よりよい商品を作り、正しく社会に還元していきたいと思っております。時代の変化に合わせて、感謝の思いをお返ししたいです。

プラス「ヨガザフ」の商品化にあたっては、布団作りの際に捨てられてしまった綿「落ち綿」を採用しました。

綿の原料にはさまざまな種類がありますが、その多くは植物や動物など自然から生み出されています。ですから、無駄にしないようリサイクルする」と、自然環境を守ることにつながると考えたのです。

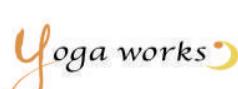
profile



綿本哲

わたもとさとし。『ヨガワークス』代表。大学卒業後、宇宙開発事業に従事。その後ヨガ教室の経営に携わり、各地でヨガの指導を行う。ヨガの考え方をビジネスに活用する経営コンサルティング会社でITベンチャー系を中心に事業展開。2003年、『ヨガワークス』設立。2004年、ケンハラクマ先生、綿本彰とともに「ヨガフェスタ」を始動。現在に至る。

Information



www.yogaworks.co.jp



Follow us!
@yogaworkscojp

